

りべら

特集:西淀川で学ぶ あおぞら学校、開講中!

レポート1 まち歩きおすすめスポット…1

レポート2 オーダーメイドの体験型プログラム…3

きらりと輝く西淀川のまちの先生…5

伝える思い、学ぶ意義…7

忙中一筆 五十嵐有美子…8

ニシヨドガワ ノラシゴト…9

【新連載】西淀川モノづくり会社 人つなぎ:東亜成型株…10

西淀川記憶あつめ隊:北村正義さん、北村道春さん…11

ぶらりとゆるりと西淀川めぐり 食べればHappy!まちのケーキ屋さん…12

【新連載】被災地の未来を考える…12

あおぞら広場…14



(株)山崎シャーリングを見学。
環境対策を学びました(14.6.17)

あおぞらフォトギャラリー



西淀川区民まつりで大学生が廃油キャンドルづくり(2014.9.20)



第2回西淀川親子ハゼ釣り大会。107人が竿をふるいました(2014.9.27)



第7回御堂筋サイクルピクニックにて、ウィラースクール(子ども自転車教室)を開催(2014.9.21)

お知らせ

【あおぞら財団主催】

●都市型インタープリター・トレーニングセミナー

日時:理論編=11月22日(土)、23日(日)

実践編=12月20日(土)、21日(日)

講師:高田研(都留文科大学)、西村仁志(広島修道大学)

内容:都市(まち)の資源に光をあて解説する技術を実践的にトレーニングします。

参加費:3万円(全4日)、理論編のみ1万6千円

会場:あおぞら財団

【公害資料館ネットワーク主催】

●未来に共につなげよう公害資料館の“わ” 第2回公害資料館連携フォーラムin富山

日時:12月5日(金)~7日(日)

会場:富山県立イタイイタイ病資料館

参加費:無料

※環境省「平成26年度地域活性化に向けた協働取組の加速化事業」
全国事業

【エコでつながる西淀川推進協議会主催】

●ニシヨドガワ ノラシゴト 第2回親子で始める菜の花栽培 追肥・草抜き編

日時:2015年1月31日(土)10:00~

場所:(株)ニチノサービスの造成畑

(阪神なんば線出来島駅、または阪神本線千船駅から徒歩10分)

準備物 軍手、汚れてもよい格好

参加費 1人100円(保険代)

あおぞら財団とは

〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階
(TEL)06-6475-8885 (FAX)06-6478-5885
電子メール:webmaster@aozora.or.jp http://aozora.or.jp/

1960年代から問題となった大気汚染公害によって、多くの人が健康被害を受けました。その責任を問う西淀川公害裁判(1978~1998)では公害患者が勝利しました。患者は「手渡したいのは青い空」を願い、裁判の和解金の一部を使って1996年にまちづくり組織・あおぞら財団を立ち上げました。まちづくり・資料館・環境学習・公害患者の保健・国際交流の事業を行い、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

あおぞらビル

【1F】地域交流スペース「あおぞらイコバ」

会議、ギャラリー、コンサート、上映会などにご利用いただけます。
午前:1,000円/午後:1,300円/夜間:1,300円/全日:3,000円

【5F】西淀川・公害と環境資料館(エコミュージズ)

西淀川公害や環境について、地域の歴史などが知りたい人はぜひお越しください。

開館日 月曜日と金曜日(10:00~17:00) / 要事前電話予約

●いずれも、予約・お問い合わせは4F事務所へ

会員・寄附募集

あおぞら財団への寄附や賛助会費は、税制上の優遇措置があります。

●賛助会員 会員の方には機関紙「りべら」などをお送りします。

【年会費】個人:年一口5,000円、学生:年一口2,000円、
法人・団体:年一口10,000円

●会費・寄附の振込先

*郵便振替口座 00960-9-124893 加入者名:あおぞら財団

*三菱東京UFJ銀行 歌島橋支店 普通 3764689

口座名義:あおぞら財団賛助会員

歌 島橋交差点の謎

スタートはあおぞら財団近くの歌島橋交差点。ご存知、五叉路の真ん中に立つと、どっちが梅田？神戸？という説明から始まります。

ここで出すのは定番クイズ第1問「空気を監視する装置はどこにあるでしょうか？」

普通に通りすぎると気がつかないぐらいさりげなく、その装置はあるのです。国道2号の大気を観測するもので、PM2.5も観測しています。

第2問は「見渡せる範囲で国が行った公害対策は？」

ご紹介している対策は8つほど



大気を測定する装置は実は右側の茶色の箱

- ど(地下歩道化、緑化、遮音壁、光触媒、案内板、低騒音舗装、歩道の美化など)。あまり知られていませんが、環境をよくするために、知恵を絞った努力が重ねられています。

レポート1 まち歩きおすすめスポット

特集 西淀川で学ぶ あおぞら学校、開講中!

みんながつくった緑陰道路

西淀川の市民に愛される緑の憩いの道「大野川緑陰道路」。この道の約半分は、元々は中島大水道という水路でした。江戸時代、庄屋さんたちの努力で開削された中島大水道は、1971〜79年にかけて埋め立てられて、今の歩行者専用・自転車専用道路になりました。

この緑陰道路が高架道路になるかもしれないことがご存知ですか？

大阪空港へ向かう道路

をつくる計画を開きつけた地元住民が力を結集し、一ヶ月間で2万人を超える署名を集めて計画を変更したそうです(当時の西淀川区の人口は約9万人)。西淀川の住民の自治の力には感動します。

緑陰道路をしばらく散策。大島橋界隈の汚れていた頃の緑陰道路の写真を紹介すると、今とのギャップに驚くとともに、アジアの方からは「私の国の川が今まさにこういう状態」と共感の声もあがります。



かつての緑陰道路の状況を説明

旅 館みたいな デイサービスセンター



利用者の人のお話を伺うことも

(公財)国際交通安全学会第52回IATSSフォーラム研修生のみなさんと辰巳さん

大和田方面での人気スポットは、デイサービスセンターあおぞら苑。西淀川公害裁判の和解金をもとにつくられたこの施設には、小さいながらも素敵な日本庭園があり、なんと露天風呂が！旅館のような福祉施設

に海外の方はびっくり！施設長の辰巳さんの「利用者みなさんに『西淀川に住み続けてよかった』と思えるような人生を過ごしてほしい」という思いに、見学者は感動するのです。

道 路対策、いろいろ 出来島小学校周辺

子どもたちの通う学校周辺の大気状況になりますよね。出来島小学校では、国道43号沿いの壁面が白く塗られています。実はこれ、光触媒。この光触媒に触れた大気中の窒素酸化物(NOX)は、紫外線の働きによって大気中の水と酸素と反応して硝酸イオンなどに分解されるのです。

また、出来島小学校には大気汚染常時監視測定局があります。測定結果の時間値はウェブ上でみることができます。その名も「そらまめ君(環境省大気汚染物質広域監視システム)」。空をマメに監視しています。保護者の方でスマホでまめにチェックされている方もおられるとのこと。



二酸化窒素低減のためのプランターに興味津々の中国からのみなさん



光触媒の壁の上に大気測定の吸込み口が見えます

そらまめ君
http://soramame.taiki.go.jp/



レポート
2

オーダーメイドの
体験型プログラム



「聞いたことは忘れる。見たことは覚える。体験したことは理解する」と孔子は言ったとか。あおぞら財団では様々な立場の参加者の方のご要望にお応えするため、講義だけでなく体験型のプログラムを取り入れるなど、ニーズにあわせてオーダーメイドの研修を提供しています。(研修のお問い合わせは、webmaster@aozora.or.jpまで)

パターンI

環境と経済、どちらも大事にしたい

5、6人のグループにわかれ、公害をうみださない、持続可能な地域づくりを考えます。環境は大事。けれども経済活動ももちろん大事です。そこで西淀川で学んだことを踏まえ、「このグループがひとつの地域としたら、どんな地域づくりをするか？」を話し合ってもらいます。今年6月に西淀川にやってきたASEANの若手リーダーのみなさんは(国際交通安全学会研修プログラムとして)、大事にしたいことを図にして描いてくれました。(右下写真)



地域づくりの話し合い発表



環境省の新人研修でもまちづくりを考えます



絵で表現したグループも

パターンII

買い物ゲームでフード・エコを実感!

車社会は便利だけれど、環境にとってどんな影響があるの? という視点から、よどがわ市民生協のみなさんには、フィードワークとフードマイレージゲームに取り組んで学んでもらいました。学習の最後に「これから実行したいこと」を発表してもらったところ、「地産池消を心がけたい」「自転車を安全に走らせるまちにしたい」「生協のくらし委員会でもっと学びたい」など、さっそく生協で取り組もう! という意欲的な意見を聞くことができました。



どんな献立にしようかな?

食と交通と環境
フードマイレージ買物ゲーム
<http://www.aozora.or.jp/foodmileage/>



パターンIII

これから働くまちを歩いてみよう

毎年、研修の協力をさせていただいているのは、淀川勤労者厚生協会の新人研修です。地域の歴史や現状を学んでもらうということで、今年の研修では野里から柏里、歌島を歩きました。特に医療従事者のみなさんには、西淀川の海拔が低いこともお伝えし、いざというときのために、医療従事者としての心構えが必要か、考えられています。



まちの海拔表示板を確認



時にはこんなところにも行っています。

淀川の今昔を体験!

昔の淀川は野里住吉神社の東側を流れていました。境内から少し北側に「榎の橋 野里の渡し」跡の碑があります。ここから柏里商店街のアーケード入り口あたりまでが、ちょうど昔の淀川の川幅です。歩いてみると大きさを実感できます。そこからさらに現在の淀川の河川敷へ。砂地の浜をちよっと掘るとしじみが出てきます。料亭へ出されているしじみが淀川でとれるかというと、意外と驚く人が多いです。



国土交通省 大阪国道事務所

道路を管理する大阪国道事務所。騒音や大気汚染等の自動車公害を軽減するための対策を、現地での解説や、講座形式でもお話頂けます。

HP <http://www.kkr.mlit.go.jp/osaka/index.php>



43号線の対策をさく。

日本野鳥の会大阪支部

野鳥の会の皆さんが、西淀川の野鳥を通じ解説するのは当地の自然だけではありません。自由に移動し生活する野鳥からみた近畿の、そして地球規模の自然環境をととめダイナミックに読み解きます。矢倉海岸で定例探鳥会を実施中。第一土曜日開催(1,6,7,8月は除く)。

HP <http://sun.gmob.jp/wbsj-osaka/>



わかりやすい言葉で解説する
杉田福松リーダーは元小学校教師。写真提供: 橋本正弘さん
(上) 矢倉名物ミサゴ。
(下) 冬の渡り鳥 スズガモ。

西淀川公害患者と家族の会

公害の被害の辛さから未来に託す思いまで、被害者の生の声は小学生から大人まで年代を超え届きます。小学校に出張しての語り部授業や、西淀川の研修などでお話しています。

HP <http://www.d3.dion.ne.jp/~kanjakai/>



語り部をする永野千代子さん。公害病のお子さんが通っていた大阪市立出来島小学校にて。



きらりと輝く 西淀川のまちの先生

自然や歴史、まちづくり...西淀川で活動する人
たちから、話をききませんか。
様々な立場の地域の「先生」
から学ぶことで、新しい発見
があるはず。そしてもっと西淀
川が好きになるかも。🐶



西淀川の企業見学

公害について考えるとき、欠かせないのは企業の立場の理解です。(株)山崎シャーリングや古河ケミカルズ(株)といった西淀川の工場にご協力いただき、環境対策について学んでいます。



株式会社
山崎シャーリングを見学。



説明する
山崎光信会長。

西淀川菜の花プロジェクト

天ぷら油の回収や、油の原料である菜種の栽培を通じて地域で資源のつながり、人のつながりをつくろうという取り組みです。廃油回収に励む地域の人や浜田化学さんなど回収業者、西淀川菜の花プロジェクトを提案した大阪府立西淀川高校などからお話を聞けます。

HP <http://nanohanany.blogspot.jp/>



廃油のリサイクルを説明する
浜田化学株式会社の
岡野嘉市代表取締役
(西淀川区出身!)



佃南小で廃油回収をよびかける
津田安基さん、阿南雄一さん。



西淀川高校
エコ・コミュニケーション部。

大阪市漁業協同組合

優しい笑顔の下に隠れた熱い思いをもつ「海の番人」漁師さん。学校での出前授業や大学生や社会人等に向けた講義等にも取り組んでいます。その話は漁の仕方やとれる魚の種類はもちろん、都市の開発、地産地消、生き方まで、広範囲にわたります。

HP <http://www.osakashigyokyo.or.jp/>



大阪市立姫里小学校で
ゲストティーチャーをする
漁師の北村光弘さん
(小学生のお父さんでもあります)

あおぞら財団
環境学習HP
近日オープン!!



プログラムの検索等もできます。ぜひ活用ください。
<http://aozora.or.jp/e-edu/>

空気の汚れを 知らなかつた、私

西淀川公害患者と家族の会
岡崎 久女



空気の汚れで病気になるなんて、当時はわかりませんでした。息ができないことで、苦しいこと、悲しいことが多くありました。空気の汚れで病気になるなんてイヤだ!!と思いました。

語り部ができるようになったのは、裁判中、100万人の署名を集めるために弁護士さんと東奔西走し、息のできない苦しさを訴えたことがはじまりです。今日では患者が高齢化し、話す人が少なくなってきています。

昔を知らない若い人が多くなっている西淀川。写真資料だけでなく、自分が話せる間は自分の声で話していきたいと考えています。

小学校・中学校・高校・大学、いっぱいお話に行きました。また司法修習生、医療修習生の方々にも聞いていただいた中で、「岡崎さんのお話を聞いて、医者になろうと思った」と言ってくれた方がいました。しかも本当にドクターになってがんばっている女性の言葉を聞くことがありました。そのときは本当にうれしかったです。今後も少しずつでもがんばっていきます。



伝える思い、学ぶ意義

「西淀川で学ぶ」 ことの意義

広島修道大学人間環境学部准教授
西村 仁志



都市には人工環境であるがゆえの特有の様々な問題が生じてきました。しかし都市はこうした諸問題を抱えながらも、そこに生きる人々が創造的な活動をたゆまず続けてきたことで、さらに人々を惹きつける魅力を持ち続けています。住民にはこうした諸問題を正しく認識し、解決していくことが常に求められてきたのです。

「シチズンシップ」という言葉は「市民性」と訳されていますが、単にそこに住んでいる、住民票があるということだけではなく、公共の責任と社会的役割を認識し未来のまちづくりに自発的に行動していこうとすることを指します。

まちの成り立ちを様々な切り口から浮き彫りにし、持続可能な未来のあり方や、この地域における心豊かな人生について考える機会は、シチズンシップを育む上でとても重要です。

あおぞら財団には、西淀川の住民の方々に環境再生とまちづくりへの関心をもってもらい、参加を促すというミッションがあります。そして公害からの教訓に学ぼうとする国内外の人々を数多く案内してきました。まち、人、自然の過去と現在、そしてこれからの持続可能なまちづくりと社会的公正の観点を一体として学べるのは西淀川ならではの学習資源であり、また意義だと思っています。

忙中 一筆

人間・社会・自然の関係性を考え 未来への希望を描きたい

あおぞら財団とつながりがある人からエッセイを寄稿してもらっています。大学で公害をどう教えるか、試行錯誤する五十嵐有美子さんのエッセイです。



五十嵐 有美子 (いがらし ゆみこ)
2012年、京都府立大学大学院福祉社会学研究科博士後期課程単位取得満期退学。京都府立大学大学院福祉社会学研究科学術研究員。近畿大学農学部非常勤講師(「環境教育学」担当)。

幼い頃の疑問

—空はなぜ青いの？自然ってこんなに素敵なのに、なぜ大人は自然を壊すの？
京都市内の自然豊かな所で生まれ育った、幼い私の抱いた疑問。日ごと宅地開発の名のもとに姿

を消していく。多感な中学最後の夏、幼い頃からの疑問に答えを求めR・カーソンの『沈黙の春』を苦悶と恐怖を覚えながら読み通すものの、さらに疑問は深まってしまっ。なぜ深刻な環境問題があるのに、大人や社会は静観しているの？

へ聞き取りや裁判傍聴、アンケート調査…。研究を続けていくうち、私は一つの壁にぶち当たってしまったのです。それは長年対立関係にある環境問題の当事者間に、突然私のような第三者が介入する意義は何なのかということでした。私のしていることは単に起きた出来事への言わば対症療法的なことではなく、その対立した関係を改善していくこともできなければ、まして予防することなんてかなわない。そんなことに虚しさに似た感情がわいてしまったのです。

ツアー(2011年「西淀川大気汚染の地を訪ねて」に参加する機会を得ました。古河ケミカルズや千北診療所、西淀川高校と実に多様な皆さんからお話を伺い、過去から現在までの西淀川地区の人間・社会・自然という三つの関係性について、対立から協働への眼差しがあることに胸が熱くなりました。そしてツアー主催者のあおぞら財団の様々な活動が、公害経験を前向きに生かした未来志向の地域再生を目指し取り組みられていることを知って、そのような姿勢と取り組みこそが環境問題やそれに伴う人間同士の対立を改善・予防する一つの答えのように思えたのです。

から30ウン年。私は今、大学で、人間・社会・自然という三つの関係性と環境問題について教育からアプローチしています。歴史や理念の話では睡魔に負けそうな学生も、西淀川で起こった公害被害の映像やおおぞら財団の活動について紹介すると表情が一変。学生の感想の多くは、「知らなかったことへの驚き」と「知ることの大切さ」。私自身もまだまだ「知ること」の途中で模索しています。ただ思い描くのは人間同士が対立しない暮らしであり、もっと描くなら人間と自然もまた対立しない社会です。

自分の中に存在し続ける疑問を追って、人間の側から考える環境問題を大学・大学院での研究テーマに選んでいきました。ごみ焼却場建設問題、風力発電所・原子力発電所建設問題と地域社会への影響について、地域住民・行政担当者等

「知らなかつたことへの驚き」と「知ることの大切さ」
そうした思いを抱えていた頃、奇遇にもあおぞら財団のスタディ

—私に何ができるの？
希望ある未来を抱きながら疑問を追究していきたい…。そう思います。

希望ある未来を抱きながら疑問を追究していきたい…。そう思います。



足尾鉾毒事件田中正造記念館にて

◆工場×デザインで起死回生

東亜成型株式会社といえば「あ!、工場にデザインを取り入れた会社でしょ」とすでにご存知の方も。リーマン・ショック後に、父が経営していた会社が右肩下がりに…。そんな中、2009年に浦竹さんは前職を辞めて戻ってきた。まず取り組んだのが会社を明るく楽しくするために、全く接点のなかった“デザイン”を取り入れた。ユニークな取り組みに新聞やテレビなどの取材が増え、徐々に業績も回復。そして、実際にデザイン性の高い、新しい鑄造の仕事もくるようになったそうだ。と、ここまでは『二代目社長、成功への奮闘記』とでもいおうか。こうした話はアチコチで紹介されているので参照してもらいたい(例えば、Bplatz press Vol.157, p.4, 2014年2月)。



蛍光灯カバーに魚がいた!

◆なぜ戻ろうと思ったのか、という疑問



崩した砂型は富士山に

浦竹さんの前職は会員制リゾートホテルの営業マン。前職では不自由ない収入を得て暮らしてきたところを教えてくれた。それでなぜ、潰れるかもしれない会社に戻ってきたのか?

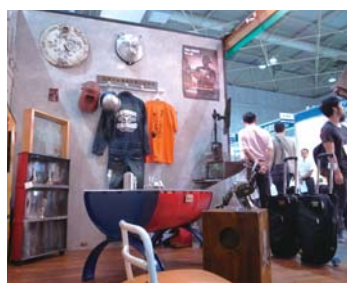
浦竹さんは「やっぱり、人との信頼関係が大切。営業マン時代、業績をあげるためなら手段は問わないというやり方はずっと疑問を持ってきた。そこで、自分独自のお客さんを大切に作る営業を、どれだけ批判されても貫いた。人を大切にするやり方は間違っていない。業績も徐々に伸び、セールスコンペで最優秀賞を取ったこともある。

戻ってきた理由は、人を大切にするからこそその答えだった。「子供の頃から工場の職人さんに遊んでもらってた。その職人さんは今も働いてる。ここで自分が潰したらその職人さんたちはどうなるんだろう…。」でも、決して思着せがましくなく「自分はデザインなんてぜんぜんしてない、従業員がどんどん考えて勝手にやってくれるんですよ」と笑う。

◆僕はアホやから…

これまでなかった製造業の工場にデザインを取り入れた。どうしてこんなことができたのか、これも聞いてみた。「僕はアホやから、とりあえずやってみる」、そんなアホな。否、アホなふりしてるだけ。発想が“アホほど”ぶっ飛んでいる。

その様子は、9月24~26日、インテックス大阪で開催されたものづくり展示会『機械要素技術展』でみえた。普通、展示・商談会といえば自社の商品や技術を陳列したり、デモンストレーションを行うもの。だけど、浦竹さんは製造技術の特徴や他社との違いをセールスするのではなく、“コンセプトを売る”という考えから『ガレージ風秘密基地』をイメージした展示ブースを作った。これには通る人が「え?何?」と足を止め、近寄る、中に入り、説明を聞く。うまい。アホなことでも見えないだけで、いくつかの戦略が隠されている。浦竹さんは、製造業の枠にとらわれない斜め上いくオモイことをやってくれる、そんな人だった。



展示会『機械要素技術展』



水辺のゾーンには釣り竿が。でもこれはリールじゃなくて電気コード

西淀川 モノづくり会社 人つなぎ①

「僕はアホやから」のウラにある顔

モノづくりの町、西淀川―暮らしの裏方を支えている製造業。そこではどんな人が、何を作っているのか、実はあまり知られていない。だけど、ぎっと涙なしでは語り尽くせないドラマもあつたはず。西淀川を支えるそんなアツい人にスポットライトを当て、紙面を通じて応援する企画。
第1回目は中島工業団地にある「東亜成型株式会社」の浦竹重行常務取締役を訪ねました。①



東亜成型株式会社 / プロフィール

設立:1967年7月
従業員:20名
住所:大阪府大阪市西淀川区中島2-11-98
電話:06-6474-5688
mail:info@toaseikei.com
Webサイト:http://toaseikei.com/
事業内容:砂型鑄造、自動車のウレタンシート
発泡用金型の製造メーカー

ニシヨドガワ ノラシゴト

第1回

親子で始める菜の花栽培 種まき・つちづくり編



最初は何もなかったところを…



耕うん機で
タガヤスのしいな~



ドロアソビゲーム、
高い山とトンネル作ってね~



ドロアソビに
水遊びは楽しい

どんな目的でやったのか?

台所から出る残飯、揚げ物の油、皆さんどうしてますか?捨ててますよね…。でも、こうしたものを地域の中で循環させて、環境にいい街を作ろうとしているのが「西淀川菜の花プロジェクト」。その取り組みのひとつとして「ニシヨドガワ ノラシゴト」が今年10月から始まりました。これは(株)ニチソーサービスさんからCSRの一環で工場内の土地約500㎡を無償で提供して頂き、家庭から出るもので堆肥を作り、みんなすこしづつ「農地」を作る、そんなプロジェクト。まず初めは“菜の花”を栽培して、来年6月には菜種油を搾って美味しい料理をみんなで作って食べます!

何をやったか?

最初の種まき&つちづくりには参加者15組、48名(大人25名、子供23名)も参加頂きました。ありがとうございます。イベントでは子供は基本、はだし。お父さんもお母さんも、はだし。まずは「タガヤス」。みんな初めての手押し耕うん機にドキドキ。将来、木陰でのんびりお昼寝ができたらいいなと、記念に木を5本植えました。そして「ドロアソビ」。土にしっかり触ってもらいながら耕すためにゲーム形式に。制限時間15分で、手とスコップと水と土だけを使ってできるだけ高い山とトンネルを作るゲーム。優勝者は65cmでした。お昼は芝生の上でみんなでご飯。外で食べるごはんは最高!午後から種まき。修成建設専門学校の中安先生に「溝を作って、一粒ずつ丁寧に蒔いてね。最後に保水のために粗殻をかぶせるんだよ」と聞いてみんな一生懸命。1週間したら芽がでるはず。うまく育つといいな。～
次回のイベントは1月31日の予定です、友達誘って来てね。

◆日時:2014年10月4日(土)10:00-14:30
◆場所:(株)ニチソーサービスの造成畑
◆主催:エコでつながる西淀川推進協議会

◆企画:佃五丁目菜の花の会((株)ニチソーサービス、浜田化学(株)、修成建設専門学校、あおぞら財団)
◆協賛:東亜成型株式会社
◆事務局:あおぞら財団



西淀川記憶あつめ隊 Vol.11

大野川緑陰道路は、かつて大野川という川でした。大野川の河口と淀川河口に囲まれた西淀川区福町で生まれ育った北村正義さん(1925(大正14)年生まれ)と、北村道春さん(1935(昭和10)年生まれ)に住吉神社でお話を伺いました。
※お二人は兄弟ではありません。
福町は北村さんはじめ同じ名字が多いそうです。

2014年3月26日、4月5日 訪問



4月5日の中島水道サロンの様子。奥の左から北村正義さん、道治さん。

◆川は大切な遊びや生活の場
正義さん(以下、正)：私が子どもの頃、大野川は水深2〜3m位のメダカやフナもいるきれいな川で、泳いで遊びました。淀川も、河川敷に葦や田畑が広がり水面には青草や藻がしげるきれいな川でした。干潮の時に歩いて渡ることもできました。戦中戦後くらいに川幅が広くなりましたが、昭和13年頃までは川幅の30%位しか水が流れていなかったため、貝の採集に適していたのだと思います。

道春さん(以下、道)：私が子どもは泳いで往復できます。私も一度だけ往復できました。私に、淀川を泳いでいる途中に友人の足がこむらがえりになりました。私は岸まで漁師の助けを呼びに行き、友人は仰向けに浮かんで待ち、助かりました。

◆戦争と福町
正：昭和11年、福町に音楽隊ができました。ラッパ8人と大太鼓

◆台風と福町
正：ジーン台風(昭和25年)では淀川の堤防が決壊し、特に西島にある外島保健院では多くの死者が出ました。三笠宮親王が供養と視察で訪れることになり、通り道にあたる43号線に立ち並ぶバラック小屋は汚いので撤去するよう命令があり、新しい住居が用意されま

した。当時の兵隊は「英霊」となって戻ってくるというわが、福町で英霊を迎える時に演奏した。昭和16年に戦争で使う武器をつくるために出された「金属回収令」により、その楽器も供出されてしまいました。福の住吉神社の神馬も戦争で供出されましたが、平成6年、再建されました。私も、終戦直前の昭和20年4月、高槻の工兵隊に入りましたが、終戦を迎えました。これは工業の時代」と夜間高校で学びながら働きました。

した。ありのままの生活を見てもらう方が良く思うのですが、そういう時代でした。第二室戸台風(昭和36年)では他の地区では大きな被害は出ましたが、福町では死者は出ませんでした。昭和9年の室戸台風の時も福町の被害はなく、福の住吉神社の氏神様のおかげという話もあります。

再建された住吉神社の神馬

娘の作るデコレーションケーキは要予約です

コーヒーの風味が何ともおしゃれなキリマンジャロ

burari yururi

ぶらりゆるり 西淀川めぐり

第12回 食べればHappy!まちのケーキ屋さん

今回の取材は、いつも「おもしろいわ西淀川」の記事を担当しているエコミュージックスタッフ佐々木真弓と、インターン生の飯田舞子の女子二人が担当しました。美味しいケーキ、召し上がれ!

(イラスト:とりやまひろこ)

夫婦2人で経営しています

一番人気のシュークリームはその場でクリームをつめます

ヴェール

オーナーは、女手一つで5人の子育てしてきたミラクルママ!今は大きくなったお子さん達と一緒にお店を経営しています。ママのおすすめケーキは、コーヒーの風味が何ともおしゃれなキリマンジャロ。季節ごとに旬な果物を用いたケーキも沢山並んでいて、娘さんが作る予約制のデコレーションケーキはきらきらしていて、まるで芸術作品のようです。今年で創業28年になり、子供から大人まで幅広い世代の方に好まれています。

所 西淀川区佃3-1-7
休 火曜日
営 10:00~20:00
☎ 06-6471-2458

ナチュール

ご夫婦で経営するナチュールは、今年で創業7年目。ごんまりとしている店内には、ケーキや焼き菓子の可愛らしさがぎゅと詰まっています。日本各地から食材を手配している素材にこだわっているそう。西淀川と言う下町に位置しているのに、食べやすさをモットーに作っているようです。一番人気はシュークリーム!シュー生地が湿らないよう買ったその場でクリームをつめてくれます。

所 西淀川区姫島4-7-6
休 水曜日
営 10:00~19:00
☎ 06-6474-1399

新連載 vol.1

被災地の未来を考える

フォトジャーナリスト 山田周生

一般社団法人 United Green 代表。パイオニール燃料を使った車での走行実験中、岩手で東日本大震災に遭遇。ガソリンスタンドに寄らず走行が可能ことからすぐに被災した沿岸部の支援を開始。現在、岩手県釜石を拠点に支援活動の続け、海と山をつないだ未来循環型の地域づくりに力を注いでいる。

震災から4年目の夏。東日本大震災で津波の被害を受けた岩手県釜石では、まだ海開きは行われていません。砂浜で遊ぶ家族の姿が少しずつ増えてきましたが、震災と時代の移り変わりの中で、海離れがおきている現状があります。そこで「海・こども・ネイチャーアクティビティ」に関わる地元のライフセーバー、トライアスロン、シーカヤックガイドなどが手をつなぎ「地域の大人が地域の子どもに、海の楽しさを伝える」1回目のイベントを開催することができました。「あつ魚がいるよー!」などと終始子どもたちの声が響き、子どもや大人たちから沢山の笑顔がこぼれました。海で感じる楽しさから「それぞれの大切な何か」が思い出とともに刻まれると思います。それは同時に海と共に暮らす「ふるさとの誇り」や「生きる力」にほかならないと思うのです。今回はまた地域の未来のためにどんなイベントにしようかと、地元の方たちと話し合っているところです。

ありがとうございます

(2014年6月～2014年9月 敬称略・順不同)

●入会

井村 紘
松本 保
小口 悠
金原 功

●寄附・寄贈者

NPO法人 西淀川福祉健康ネットワーク
石井 琢也 長瀬 文雄
伊藤 卓次 松村 暢彦
遠藤 宏一 宮本 由貴
柏原 愛子 ラジオ大阪
(株)あゆみ印刷デザイン 吉田 巖
川崎 美栄子 山崎 圭一
北泊 謙太郎 新井 真
功刀 恵美子 水俣協立病院
清水 万由子 西村 弘
調停団事務局 村松 昭夫
西口 勲 牧 洋子
藤本 典昭 澤井 余志郎
ベイコミュニケーション

●お助けボランティア

青山 佳大
岡村 裕成
左成 志朗
張 慧超
松井 悠歌
三尾 勇介
藤野 誉久

●緑道散歩

大野川緑陰道路のことをあなたは何と呼びますか。「緑道」それとも「カラー道路」?統計をとったわけではないですが、カラー道路とよぶ人は、西淀川区に長く住む人が多いように感じています。川を埋め出た経緯もあり、自転車道は川の色、歩道は土手の色にしたと聞きます。今では樹木が茂り立派な「緑道」ですが、完成当時はさぞかしブルーとオレンジが色鮮やかだったのだらうと、40年以上前の完成当初のモノクロの写真を見て思うところです。



写真提供:辰巳致

りべら No.134 2014年11月号(季刊1日、年4回発行)

発行所:公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
編集人:栗本 知子、小平 智子
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階
TEL 06-6475-8885 FAX 06-6478-5885
http://aozora.or.jp/ webmaster@aozora.or.jp

デザイン:(株)パード・デザインハウス
定価:一部400円(郵送料込)
会員の購読料は会費に含まれています。
本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



●読者の声

歴史探求 風とみどりの会
岡田 鈴代さん 平岡 元子さん



8月の「あおぞらイコバ 佃でみせ」では、去年好評だった箱ずしづくりをしました。今回は若い人がたくさん来てくれてうれしかったですね。「いまだきの子は…」なんていう、いますけど、みんな一生懸命取

り組んで、まじめでした。

前回より具とお米の量や押し方を工夫したから、お米がふわっとして



味付け中の岡田さん

ちょうど良かったわ。時間があれば、お米をもうちよっと蒸らしたかったかな。味付けは、しょうゆや砂糖を目分量で入れたけど、八木先生に味見してもらって調整しました。昔、お祭りで食べた箱ずしには、しそが入

てなかったけど、緑が少し入るといどりがきれいで正解やったね。前は夜にやったけど、今回は昼にしたから、お子さん連れも来てくれて楽しかったです。

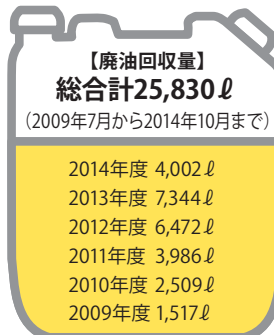


みんなで大げんか! (右奥が平岡さん)

●スタッフツイッター 編集後記

春、新緑の緑陰道路の美しさに「これは昼休みウォーキングしてダイエットや!」と思ったはずなのに…夏を過ぎてもウォーキングシューズは単なる通勤靴となっています。秋の紅葉は楽しめるかな?!

●西淀川菜の花プロジェクト ~エコでつながる西淀川~



現在西淀川区内外55箇所で、廃油を回収しています。回収団体募集中。詳しくはあおぞら財団まで。



西淀川菜の花プロジェクトブログ <http://nanohanany.blogspot.jp/>



広告

ディサービスセンター

あおぞら苑

あおぞら御膳

あおぞらの湯

【お問い合わせ】
TEL: 06-6475-0111 FAX: 06-6475-0114
URL: <http://aozoraen.com/>
運営: NPO法人西淀川福祉・健康ネットワーク

◆あおぞら苑(事業所番号 2771001076)
〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目7番14号
開所曜日: 月曜日～土曜日(祝日は開所) 利用人数: 1日18人

◆あおぞら苑II(事業所番号 2771001407)
〒555-0031 大阪市西淀川区出来島1丁目2番4号
開所曜日: 月曜日～金曜日 利用人数: 1日20人

2006年10月1日にディサービスセンターあおぞら苑は産声を上げました。西淀川公害裁判で四半世紀命をかけて闘った患者さんや家族のみなさまの思いが、ひとつの形になったのがディサービスセンターあおぞら苑です。公害患者さんも高齢になり日々の生活を援助するために、また地域のみなさまが誰でも利用でき、「西淀川に住み続けて良かった。」と思えるようにとの思いがたくさん詰まった場所にしたいと思い設立しました。

Hamada Kagaku 広告

廃棄物でお困りなら 浜田化学のコンシェルジュに お任せください

廃食油
リサイクル

使い終わった廃食油

食品残渣
リサイクル

加工中に発生した食品残渣

廃棄物
リサイクル

その他の廃棄物

お客様に最適なメニューをご提案いたします。

詳しくはホームページをご覧ください。 [浜田化学 コンシェルジュ](#) 検索

浜田化学株式会社 ☎06-6411-3457 <http://www.hamadakagaku.co.jp>

〈広告募集〉企業・団体・個人の皆さま

あおぞら財団の活動周知のため
「りべら」発行部数増にご協力ください。

「りべら」は、あおぞら財団が取り組む環境活動やまちの情報を伝える機関紙として、年4回(季刊)発行し、あおぞら財団会員様をはじめ、公共施設・店舗・各種施設にて配布しています。あおぞら財団の活動拠点である大阪市西淀川区を中心に、環境問題や地域再生に取り組む様々な方々に登場いただき、環境の取り組みやまちづくり活動の輪をつなぎ、広げていきたいと思ひます。現在、より多くの方に読んでいただけるよう、発行部数増をめざしています。(1500部→3000部)。あおぞら財団の活動趣旨に賛同いただき、ともに環境活動に取り組んでいただける企業・団体・個人の皆さまから「広告費」という形での協賛をお願いできればと思ひます。いただいた資金は、本「りべら」の紙面の充実・印刷費として活用させていただきます。あわせて定期購読、会員も募集中です。どうぞ、ご協力お願いします。

【りべら広告掲載費】
中面1/9頁: 1万円/回
中面1/3頁: 3万円/回
中面 全面: 9万円/回
お問合せ先: あおぞら財団まで
TEL06-6475-8885